



【果樹】

縮間伐及び園地環境の改善

高品質果実の生産、低樹高化のためには、十分な樹間距離が必要になります。密植園では、樹高が高くなり作業性が低下し、また日陰になるため高品質果実の生産ができません。剪定に入る前に縮間伐をして十分な樹の間隔を確保しましょう。併せて、園地の防風林等の手入れもしましょう。

【温州みかん】

施肥 1月～2月

○苦土タンカル 200kg/10a 酸性土壌の是正が目的です。

＊ 葉色の悪い園(微量要素不足の可能性あり)では、マルチサポート 80kg/10a を使用

整枝剪定(大津・青島) 2月中旬以降(厳寒期を過ぎた頃)から始めましょう。

大津・青島は大果系です。剪定量が多いと大玉果となります。

中玉果の生産のために隔年で管理方法を変えましょう。

① 表年の樹

ハサミ剪定を主体で主枝の切り下げ、下垂した枝の切返し、密生した夏秋梢の整理、強い夏枝の発生部からの除去等をしてしましょう。剪定量を増やすと大玉果の原因になります。剪定量は1割以下を目安とします。

② 裏年の樹(昨年着果が多かった樹)

ノコギリ剪定を主体に樹形を整えましょう。樹形は3本主枝の開心自然形が基本になります。

剪定量が多いと、翌年大玉果が増えますので、剪定量は2割以下を目安とします。

③ 共通

・ミカンナガタムシの幼虫を減らすため被害部の切除、園外処分を行う(4月までに行いましょう)

○被害が重度な樹の場合:(主枝が2本以上枯れている樹等) 被害樹を伐採し、園外処分する。

○被害が軽度な樹の場合: 主枝単位で切除し、園外処分する。

・薬剤散布や収穫の作業性向上のため、樹冠内部への入り口を北側に作りましょう。

【湘南ゴールド】

収穫

12月以降3月にかけて糖度は上昇し、クエン酸濃度は低下する。外観にとらわれず、食味を確認してから収穫するが、凍害が心配される場合や地域では早めの収穫をすることもあります。

貯蔵

貯蔵は貯蔵箱やコンテナを使用してから行う。湿度保持のため数枚の新聞紙で覆う。

コンテナを使用する場合は七分目の入庫量とし4～5段積みにて不織布で覆う。

この時期の貯蔵庫は入庫量が少ないので湿度保持に努める。

【レモン】

施肥 1月～2月

○苦土タンカル 200kg/10a 土壌酸度を適正に保つ。

【う め】 ＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

病害虫防除

1月

○灰星病(開花2部咲き期～満開期) ベルコート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水 100ℓ

※ 灰星病の罹病枝が分からない方は、最寄りの営農経済センターにご確認ください。また、十郎を栽培している場合は、十郎の開花状況に合わせましょう。